

令和5年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議次第

日時 令和5年9月5日(火)
9時30分から
会場 鶴見区総合庁舎6階
8・9号会議室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

- (1) 令和4年度 鶴見区個性ある区づくり推進費決算について
- (2) 令和5年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業費の執行状況について
- (3) 令和6年度 鶴見区予算編成の考え方について

5 その他

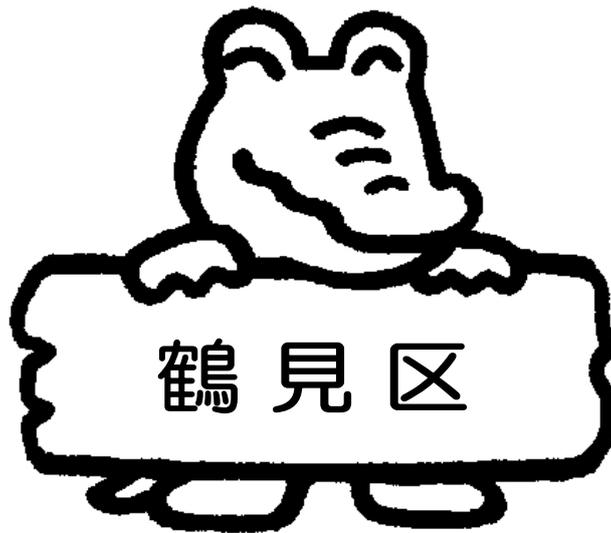
令和5年度 個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の取組について（令和5年8月25日健康福祉局福祉保健課 常任委員会説明資料）

6 閉 会

令和5年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



令和5年9月5日

目 次

議題 1

令和 4 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算について
..... P 1

議題 2

令和 5 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について
..... P 36

議題 3

令和 6 年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）
..... P 67

令和5年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 1

**令和4年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
決算について**

令和4年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算	3
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	4
2 放置自転車対策事業	6
3 交通安全推進事業	7
4 鶴見区防犯活動支援事業	8
5 自治会町内会振興事業	9
6 つるみ・地域の課題解決サポート事業	10
7 鶴見・あいねっと推進事業	11
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	11
2 区内経済・活力の向上	
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業	13
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	13
11 商店街魅力発信事業	15
12 地域活性化支援事業	15
13 地域文化・区民活動推進事業	16
14 区民スポーツ振興事業	17
3 子どもから大人まで安心・元気に	
15 ヘルスアッププラン	18
16 感染症対策事業	19
17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	20
18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	21
19 つるみDE子育て応援事業	23
20 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】	24
21 鶴見区虐待予防事業	25
22 生活衛生サポート事業	26
23 青少年健全育成事業	28
24 鶴見区環境行動推進事業	29
25 つるみクリーンタウン事業	30
4 区民サービスの向上	
26 鶴見区広報・広聴事業	34
27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	34
28 鶴見区人材育成推進事業	35
29 魅力ある区役所づくり事業	35

令和4年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	差 引
自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	109,994	106,613	3,381
地域力の強化 (災害に強いまちづくり、地域の力やつながりを育むまちづくり)	36,621	34,406	2,215
区内経済・活力の向上 (多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり)	30,348	25,158	5,190
子どもから大人まで安心・元気に (福祉のまちづくり)	22,095	21,125	970
区民サービスの向上 (おもてなしの気持ちあふれるサービス提供)	20,930	25,924	△ 4,994
一般管理費	812,598	812,472	126
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	32,367	32,173	194
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	20,470	18,418	2,052
区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費 (補正予算 24,224千円含む)	759,761	761,881	△ 2,120
個性ある区づくり推進費 計	922,592	919,085	3,507

令和4年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等決算

1 地域力の強化

事業名（決算額）	事業概要
<p>1 防災活動推進事業 【重点】</p> <p>予算（13,770,000円） 決算（13,723,819円） 差引（46,181円）</p>	<p>風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図りました。</p> <p>1 自助・共助推進事業 地域の防災情報や防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付しました。</p> <p>(1) 防災講座による啓発活動 ア 出前防災講座 実施：6～3月（延29回） 会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各ケアプラザ等 イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室） 実施：7～3月（8校） 内容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業 ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援 実施：11～2月（全3回） 対象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）</p> <p>(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動 区民の方々が地域ごとの浸水リスクを認識できるよう、「まちなか」に重点をおいた啓発ツールである「まるごとまちごとハザードマップ」の更新・啓発を行いました。</p> <p>(3) 地域防災拠点の運営力強化【拡充】 地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕や、備蓄庫管理の充実化に向けた支援を行いました。また、地域防災拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行いました。</p> <p>ア 地域防災拠点参与研修：5月 イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月 ウ 全地域防災拠点での運営訓練：9～2月（29拠点）</p>

	<p>(4) 共助のための防災活動支援事業 地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し補助金による支援を行いました。(補助額最大 15 万円・8 団体)</p> <p>(5) 鶴見川防災対策事業 鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行いました。</p> <p>(6) つるみ生活・防災マップ つるみ生活・防災マップを時点修正のうえ発行しました。 発行：12 月 部数：17,000 部</p> <p>2 区本部機能等強化事業 実災害に対応するための区本部機能の強化を図りました。</p> <p>(1) 災害対応力及び区本部機能の強化 ア 災害対策本部設置運営訓練および職員研修の実施 区本部訓練：9、1 月 職員研修：11～12 月（全 6 回） イ 災害対応に必要な区本部用資機材の購入</p> <p>(2) 災害ボランティアネットワークへの活動支援【新規】 日常的な訓練や啓発活動、また発災時に備えた資機材の貸与による支援を行いました。</p> <p>3 災害時医療体制推進事業 迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。</p> <p>(1) 区内医療機関などとの通信訓練 区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA 無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施しました。 実施：毎月（奇数月 区→区内医療機関等） （偶数月 区→市医療局） ※MCA 無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。</p> <p>(2) 鶴見区災害医療連絡会議 行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図りました。 開催：2 回 構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、 済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、 平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、 鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所</p>
--	--

	<p>(3)鶴見区災害医療訓練 鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と情報受伝達及びのぼり旗掲出の訓練を行いました。 実 施： 11月 会 場：各参加団体の執務室等 参加団体：区内医療機関及び関係団体（17 団体） 使用機器等：M C A無線、衛星携帯電話、災害時優先携帯電話、 E M I S 広域災害救急医療情報システム）、「診療中」「開局中」の旗 など</p>
	<p>【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業 (総務局) 若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会等を実施しました。</p>
	<p>【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業 (総務局) 地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付しました。</p>
	<p>【区配事業】町の防災組織活動支援事業 (総務局) 災害による被害の予防・軽減のため、自治会町内会や共同住宅の管理組合を単位として自主防災活動を行う「町の防災組織」を支援するため補助金を交付しました。</p>
	<p>【統合事業】緊急時情報システム運用事業 災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、防災・減災活動の核である地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用しました。</p>
<p>2 放置自転車対策事業 予算(5,480,000円) 決算(5,478,339円) 差引(1,661円)</p>	<p>駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行いました。</p> <p>1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJ R鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夜間）するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施しました。</p> <p>2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援しました。 対 象：6 駅（J R鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅） 補助金交付：8～9月 交付団体数：6 団体</p>

【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務

(道路局)

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行いました。

【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託 (昼間)

(道路局)

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行いました。

3 交通安全推進事業

安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めました。

予算(2,309,000 円)
決算(1,839,747 円)
差引(469,253 円)

1 交通安全啓発事業

各季全国安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開しました。

(1)交通安全運動

実施:各季運動(4月、7月、9月、12月)

新入学児童・園児を交通事故から守る運動(4月)

強化月間運動

- ・自転車マナーアップ(5月)
- ・二輪車交通事故防止・暴走族追放(6月)
- ・違法駐車、放置自転車・バイク
クリーンキャンペーン(10月)
- ・飲酒運転根絶(12月)

(2)区交通安全対策協議会の運営

ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会

実施:2回

イ 総会

実施:3月

ウ 交通安全功労者表彰

区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した個人・団体を表彰しました。

実施:3月

(3)交通安全講習会

ア はまっ子交通安全教室

実施:22回

会場:区内小学校 22校

イ チリリンスクール(自転車乗り方教室)

会場:区内小学校 22校、その他保育園・幼稚園

ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会

実施:3回

会場:企業・団体、自治会・町内会など

参加者:700人

	<p>(4)新入学児童向けランドセルカバーの配布 鶴見交通安全協会と協働で、「ワックんのイラスト入りランドセルカバー」を製作し、令和5年度の新入学児童に配布しました。</p> <p>2 学校への支援 区内小学校22校が設置しているスクールゾーン対策協議会を支援しました。 また、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、路面表示等の新設・補修・撤去を行いました。</p>
<p>4 鶴見区防犯活動支援事業</p> <p>予算(2,774,000円) 決算(2,773,188円) 差引(812円)</p>	<p>地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援しました。</p> <p>1 防犯啓発活動 防犯リーダー研修会や犯罪発生情報の提供等で、防犯意識の向上を図りました。</p> <p>(1)地域防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催しました。 実施：11月10日(木) 参加者：48人</p> <p>(2)犯罪発生情報の提供 パソコンや携帯電話のEメールにより、メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供しました。</p> <p>(3)振り込め詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、啓発物品や広報媒体を活用し、区民への注意喚起を実施しました。</p> <p>2 子ども防犯活動支援事業 子どもを犯罪被害から守るための支援を行いました。</p> <p>(1)子ども防犯教室の開催 子どもへの犯罪から身を守ることをテーマに、防犯教室を開催しました。 実施：7～1月(年10回) 対象：区内保育園</p> <p>(2)「子ども110番の家」のプレートの提供 実施：7月 枚数：200枚</p> <p>(3)児童下校時見守り活動 実施：毎月10日(横浜市子ども安全の日) 参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、学援隊等</p> <p>3 地域防犯活動支援事業 地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行いました。</p>

	<p>(1)防犯パトロール活動支援事業 パトロール活動に必要な物品を希望する自治会町内会に防犯物品を提供しました。</p> <p>(2)防犯パトロール実施委託 事業委託により、児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的として、下校時間帯に区内小学校周辺を中心に、防犯パトロールを実施しました。 実 施：年 20 回</p> <p>(3)迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会・鶴見暴力団排除推進協議会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与しました。 台 数：年 233 台</p>
<p>5 自治会町内会振興事業</p> <p>予算(3,115,000円) 決算(2,471,364円) 差引(643,636円)</p>	<p>地域活動の振興等に関連する行政や団体からの各種情報や依頼事項を自治会町内会に伝達しました また、自治会町内会の活性化のため、加入促進の取組を行うとともに、ICTを活用した自治会町内会活動を支援しました。 自治会町内会長・地区連合町内会長として地域社会の振興に尽力された方々に対して、自治会町内会長感謝会にて感謝状及び記念品の贈呈を行いました。</p> <p>1 地域振興連絡事業 区連会定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行いました。 実 施：毎月（8月を除く）</p> <p>2 地域活動支援事業【拡充】 ICTを活用した自治会町内会の課題解決や地域活動の促進を支援しました。 実 施：通年 ICT活用相談 実施団体：5団体 地域活動ICT活用補助金 交付団体数：5団体</p> <p>3 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈しました。 実 施：3月 感謝状対象：自治会町内会長5年 (対象者数：6名) 記念品対象：自治会町内会長5年毎、 地区連合町内会長10年毎 (対象者数：11名)</p>

【区配事業】 地域活動推進費

(市民局)

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援しました。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付しました。

【区配事業】 自治会町内会館整備助成事業

(市民局)

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成しました。

<p>6 つるみ・地域の課題解決事業</p> <p>予算 (6,050,000 円)</p> <p>決算 (5,132,300 円)</p> <p>差引 (917,700 円)</p>	<p>地域課題のうち、早急な解決が必要な事案等について、区として機動的な対応を行いました。</p> <p>1 地域の課題解決サポート事業</p> <p>(1) 地域の課題解決サポート事業</p> <p>地域が抱える緊急性の高い課題に対し、区が機動的に対応しました。</p> <p>(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業</p> <p>地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援しました。</p> <p>交付団体数：9 団体</p> <p>(3) 鶴見花月園公園地域活動応援補助金【新規】</p> <p>鶴見花月園公園が、「鶴見区民全体が集い・憩い・活動し、親しむ公園」となることを目的に、区民や地域団体等が行う活動を支援しました。</p> <p>交付団体数：2 団体</p> <p>(4) 鶴見区地域活動支援アドバイザー派遣事業</p> <p>地域の課題解決に取り組む団体等が活動を継続・発展させるため、アドバイザーを派遣しました。</p> <p>2 広場・遊び場事業</p> <p>区内にある返還された広場(旧サムエル町のはらっぱ)の管理を行い、公園整備に向け、関係局や地域と調整を行いました。また、子どもの遊び場の遊具撤去や新設を実施しました。</p>
---	---

【区配事業】 元気な地域づくり推進事業

(市民局)

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援しました。

(事業内容)

協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施しました。

<p>7 鶴見・あいねっと 推進事業</p> <p>予算(1,347,000 円) 決算(1,717,681 円) 差引(△370,681 円)</p>	<p>鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みました。</p> <p>1 第4期区計画の推進 3年度から7年度までを計画期間とする第4期計画について、その推進を図りました。</p> <p>(1)鶴見・あいねっと推進委員会 区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催しました。 推進委員会：7月、1月</p> <p>(2)地区別計画の推進 地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図りました。 会 場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延約2,100人 〈地区別支援チーム〉 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p> <p>2 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催しました。 実 施：2月 会 場：サルビアホール 参加者：約500人</p>
<p>8 「広げよう見守りの 輪」推進事業</p> <p>予算(1,776,000 円) 決算(1,269,390 円) 差引(506,610 円)</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対して、地域で日頃から見守り、緊急時や災害時にも役立つ支えあいの関係づくりを進めました。</p> <p>1 定期訪問・見守り活動支援 新型コロナウイルス感染拡大による“新しい生活様式”を踏まえ、民生委員等主な活動者へ衛生用品（手指消毒液及びサージカルマスク）を配付しました。また、救急医療情報キットを配布し、緊急時の迅速な対応に役立てました。 定期訪問・見守り活動対象者数：2,880名（5年3月末現在）</p> <p>2 災害時要援護者支援の仕組みづくり 平時からの顔の見える関係づくりを目指し、民生委員・児童委員、自治会町内会に提供した災害時要援護者名簿を活用した取組事例等の共有を行いました。</p>

<災害時要援護者名簿の提供>

令和5年4月1日現在

	自治会・町内会数	対象者数	名簿 登載者数	名簿 登載率
同意方式	26	2,345人	1,369人	約58%
情報共有方式	100	7,632人	6,497人	約85%
合計	126	9,977人	7,866人	約79%

同意方式：個人情報の提供について同意があった方の名簿を民生委員に提供

情報共有方式：個人情報の提供について拒否の意思表示がない方の名簿を自治会町内会に提供

<名簿に登載される要援護者>

- ・要介護3以上の方
- ・要支援以上のひとり暮らし高齢者
- ・障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者 など

【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）

75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施しました。

【区配事業】災害時要援護者支援事業

（健康福祉局）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行えるよう、災害時要援護者名簿を作成、地域に提供し、自主的な取組を支援します。

3年度の災害対策基本法改正等に併せて、個別避難計画等の制度をモデル事業を通して検討しました。対象区を拡大し引き続き検討を行います。

2 区内経済・活力の向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>9 「千客万来つるみ」 プロモーション事業</p> <p>予算（7,650,000円） 決算（6,778,810円） 差引（871,190円）</p>	<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、集客プロモーション活動やイベントを実施しました。</p> <p>1 区の魅力づくり 朝ドラ舞台地を生かした「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクトの推進を通じて、地域、団体、企業、大学等様々な主体と連携して、地域活性化策に取り組みました。</p> <p>◆主な取組</p> <p>(1) ロゴマークを活用したコラボ商品開発・イベント開催 合計約120もの企業等との連携</p> <p>(2) 朝ドラ出演俳優を活用したプロモーション展開</p> <p>(3) 時機を捉えたデジタルによる情報発信 特設HPの閲覧数：100,000PV以上 SNS（Twitter、Instagram、Facebook、YouTube）のフォロワー数：合計5,000アカウント以上</p> <p>2 区の魅力発信 「ことりっぷ横浜鶴見」や「沖縄タウン鶴見マップ」など、区内の見どころスポットやイベントなどを紹介する媒体を作成し、鶴見区の魅力発信に取り組みました。</p> <p>◆主な取組 沖縄タウン鶴見マップの改訂・増刷 16,000部</p>
<p>【区配事業】 Garden Necklace YOKOHAMA 2022 事業 （環境創造局）</p> <p>Garden Necklace YOKOHAMA 2022 開催に伴い、局と連携した事業を実施しました。</p> <p>「JR鶴見線で巡る緑のスタンプラリー2022」</p> <p>開催期間：9月17日～25日 参加者数：820人</p>	
<p>10 多文化のまち・つるみ推進事業 【重点】</p> <p>予算(14,503,000円) 決算(11,974,363円) 差引(2,528,637円)</p>	<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言（平成20年6月）」に基づき、鶴見区が多文化共生を推進するための事業を実施しました。</p> <p>1 生活情報の発信 Facebookでやさしい日本語、英語により生活情報・行政情報の発信を行いました（配信頻度：週1回程度）。 また、多言語版リーフレット「生活便利情報」を区役所等で配布するほか、区ホームページに掲載しました（7言語）。</p>

- 2 区役所における多言語対応の推進
複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービス・多言語翻訳機の更新、各課資料の一括翻訳を実施しました。
- 3 多文化共生社会の実現に向けた調査・啓発事業
- (1) 鶴見区外国人意識調査（対象：支援機関・団体等）
今後の多文化共生施策を検討する際の基礎資料とするための調査を実施しました。
概要：在住の経緯や生活実態を把握するためのヒアリング
調査項目：外国人支援の内容や対象者、在留目的や家族構成、日頃の困りごとなど
- (2) 職員向け「やさしい日本語」研修
区役所での窓口対応の充実を図るため、「やさしい日本語」研修を実施するとともに、研修動画を作成しました。
- 4 鶴見国際交流ラウンジ運営事業
外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行いました。
- (1) 相談対応・情報提供
- ア 9言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、日本語）による相談対応
- イ 情報誌「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行
発行：年4回
- ウ ホームページの運営
- エ SNSを活用した情報発信
- (2) 各種教室の実施
館内Wi-Fiを活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種教室を実施しました。
- ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス
実施：13回 参加者：延19組38人
- イ 学習支援教室
日本語指導を必要とする子供たちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでも実施しました。
- ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント
実施：15回 参加者：延151人
- エ 日本語ボランティア養成講座
(ア)入門講座
実施：11回 参加者：延24人

	<p>(イ)ブラッシュアップ講座 実施：6回 参加者：延 134 人</p> <p>(3)市民の多文化共生に関する活動支援 会議室や機材の貸し出し等、市民の多文化共生に関する活動場所を提供しました（日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等）。</p>
<p>【区配事業】外国人の集住が進む4区の国際交流ラウンジ機能強化 (国際局) 外国人の集住が進む区（鶴見・中・南・緑区）の国際交流ラウンジで、コーディネーターを配置し、地域の課題解決に向けた取組を行いました。</p>	
<p>11 商店街魅力発信事業</p> <p>予算(1,300,000円) 決算(1,523,010円) 差引(△223,010円)</p>	<p>地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援しました。</p> <p>1 鶴見区商店街魅力発信支援事業補助【拡充】 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援しました。 交付団体数：7団体</p> <p>2 商店街にぎわい創出事業 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた区内の商店街や店舗の広報支援を行い、来街を促すことで商店街のにぎわいを創出しました。</p>
<p>【区配事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助しました。</p>	
<p>【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助しました。(新設・改修・撤去)</p>	
<p>【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助しました。</p>	
<p>12 地域活性化支援事業</p> <p>予算(3,500,000円) 決算(2,010,584円) 差引(1,489,416円)</p>	<p>新しい生活様式の中でも地域とのつながりを感じられるよう、二つの区民まつりの開催を支援しました。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会を創ることで、区民の地域に対する興味・関心の向上を図り、地域活性化へ繋がります。 ◆実行委員会において令和4年度の開催中止が決定</p>

	<p>【前回の実施】元年5月18日、県立三ツ池公園で開催。 参加者 50,000人（実行委員会発表）</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 臨海部に親しみ、愛着を深め、子どもから高齢者まで幅広い世代の誰もが気軽に参加できる場を創り、地域交流を推進しました。</p> <p>実 施：10月15日（土） 参加者：49,000人 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験等</p>
<p>13 地域文化・区民活動推進事業</p> <p>予算(2,845,000円) 決算(2,320,883円) 差引(524,117円)</p>	<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図りました。また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施しました。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくりました。</p> <p>実 施：9～12月 会 場：サルビアホール、鶴見中央コミュニティハウス、鶴見区役所 参加者：延4,240人 内 容：郷土史展、作品展、音楽・踊り等</p> <p>2 つるみ区民活動センター事業 区民のニーズや地域課題を把握し、区民活動等への支援を行うとともに、中間支援組織として区民利用施設間の連携・協力を促進しました。また、生涯学習・社会教育を推進するため、区民を対象とした学びの場を提供しました。</p> <p>(1)相談・コーディネート・機材貸出 相談件数：179件 貸出件数：264件</p> <p>(2)情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行 回 数：年6回（隔月） 部 数：延9,000部（1回1,500部） イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録 登録数：135件</p>

(3) 講座・イベント

新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、オンライン会議システムを活用するなど、「新しい生活様式」に合致した講座・イベントを実施しました。

講座・イベント名	実施	参加者
生涯学習・社会教育推進講座 「つるみ MACHI 塾」	5 回	延 102 人
生涯学習ボランティア紹介展 「鶴見人ネットフェスタ」	1 回	15 団体 (約 50 名) ※出演数
市民活動紹介展「鶴魅力」	3 月	42 団体 ※出展数
登録団体交流会	5 月、3 月	延 73 人

(4) 区民利用施設間の連携強化

区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施しました。

実 施：3 回 参加者：延 43 人

3 読書活動推進事業

読書推進に関する施設連絡会と講演会を開催しました。

(1) 鶴見区読書関連施設連絡会

実施：9 月 参加施設：鶴見図書館、地区センター、
コミュニティハウス、
つるみ区民活動センター

(2) つるみ読書講演会

実施：12 月 参加者：70 人

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業

(教育委員会事務局)

「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施しました。

14 区民スポーツ振興事業

予算 (550,000 円)

決算 (550,000 円)

差引 (0 円)

区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、鶴見区スポーツ協会が開催する区民スポーツ大会等を支援することで、区民スポーツの普及・振興を進めました。

区民スポーツ大会等の開催 (年間) : 30 大会
参加者 : 延 12,885 人

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業名 (予算額)	事業概要
<p>15 ヘルスアッププラン</p> <p>予算 (1,693,000 円) 決算 (1,455,293 円) 差引 (237,707 円)</p>	<p>区民の平均自立期間 (日常生活に介護を要しない期間の平均) を延ばすため、区民が意識的に健康づくりに取り組めるよう健康に関する講座や啓発等を実施しました。</p> <p>1 生活習慣病予防 (1) あらゆる世代への健康啓発 地域での講座や区民利用施設等で生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行いました。 実施：通年 会場：町内会館等 対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民</p> <p>(2) 運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を行いました。</p> <p>2 ComeCome (噛む噛む) 元気大作戦! (歯科保健事業) (1) 親子わくわく歯っぴい講座 乳幼児の親子を対象に、歯みがき実習や唾液検査による歯周病予防の啓発を行いました。 実施：年12回 会場：区役所 参加者：160人 対象者：6か月から13か月未満の乳幼児と保護者</p> <p>(2) 歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 6月の「歯と口の健康週間」や両親教室(月1回)の機会に啓発を実施しました。 リーフレット配付：約1,700部</p> <p>3 食育事業 (1) 食イベントおよび食育研修会 6月の「食育月間」や10月の「健康づくり月間」で食育に関する啓発を行うとともに、食育研修会を特定給食施設管理研修会と合同開催しました。 食育研修会 実施：2月 会場：神奈川公会堂 参加者：38人</p> <p>(2) 幼児の食育講座 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行いました。</p>

	<p>実 施：年6回 参加者：42組 対象者：1～2歳児と保護者</p> <p>(3)食育ミニ講座 3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施しました。 実 施：28回 参加者：延1,479組 対象者：3歳児と保護者 ◆4～5月中止</p> <p>(4)離乳食教室 健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、追加実施しました。 実 施：24回 参加者：128組 対象者：7～9か月児と保護者</p> <p>4 鶴見区健康づくり推進会議 区内の民間企業や関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施しました。 実 施：各課ヒアリング 対 象：区政推進課、地域振興課、保険年金課 ◆推進会議は中止</p> <p>(1) 臨海フェスティバル 実施：10月 連携団体：三師会、鶴見区食生活等改善推進員会 済生会横浜市東部病院、馬場地域ケアプラザ</p> <p>(2) レシピコンテスト開催とレシピ集の発行を行いました。 コンテスト 募集：6月～10月 審査・表彰：11月 連携団体：鶴見区食生活等改善推進員会 レシピ集 発行：3月 部数：6,000部</p>
<p>16 感染症対策事業</p> <p>予算 (1,109,000円) 決算 (978,398円) 差引 (130,602円)</p>	<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行いました。</p> <p>また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修及び訓練を行いました。</p> <p>1 感染症対策</p>

	<p>(1)区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、関連施設に情報提供しました。 給食施設向けパンフレット配布 2月 100部 衛生管理講習会での新型コロナウイルス感染症講義 1月</p> <p>(2)感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に研修を行い、施設での対策強化につなげました。 実施：2月 対象：保育所、幼稚園等の看護師 参加者：19人 ◆1回中止</p> <p>2 新型インフルエンザ等対策</p> <p>(1)区民向け啓発 新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザ、新興感染症についてイベントでのポスター掲示やパンフレット配布を行いました。 実施：通年（パンフレット配布） 11月～12月（図書館展示） 会場：区役所</p> <p>(2)区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザ発生時の職員対応についての講義と庁舎活用訓練を実施します。 ◆中止</p> <p>(3)臨海3区連絡会 近隣自治体（川崎市川崎区、東京都大田区、鶴見区と感染症連絡会を開催し、感染症対応に関する連携強化を図ります。 ◆中止</p>
<p>17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業</p> <p>予算（525,000円） 決算（378,438円） 差引（146,562円）</p>	<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めました。</p> <p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する相談機関が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催しました。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施しました。</p>

	<p><構成員> 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、養護学校、地域ケアプラザ等 89 機関（令和 4 年度時点）</p> <p>(1) 会議 ・代表者会議 実施：6 月（年 1 回） ・担当者会議 実施：5 月、10 月、12 月、2 月（年 4 回） このほか、専門部会 3 部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）を 18 回開催しました。</p> <p>(2) 研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施しました。 実施：9 月、10 月、1 月、1 月（年 4 回） 参加者：延 141 人</p> <p>2 障害理解の推進 障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等の PR、販売支援、啓発ポスターによる広報啓発等、区民の障害理解や意識啓発に繋がりました。 ・障害者週間イベント 施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行いました。 実施：12 月（障害者週間に合わせて実施） 会場：区役所 1 階ロビー等 ・啓発ポスター交通広告掲出 自立支援協議会権利擁護部会で作成した啓発ポスターを、市営バス、川崎鶴見臨港バスに掲出しました。 実施：12 月、3 月</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施 社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施しました。 実施：6 月～2 月（年 7 回） 参加者：延 177 人</p>
<p>18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業</p> <p>予算（1,145,000 円） 決算（967,266 円） 差引（177,734 円）</p>	<p>高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行いました。特に、オーラルフレイル予防の推進に向け、歯科受診勧奨等について個別通知を行いました。</p> <p>1 認知症普及啓発事業 地域情報誌を活用し、地域住民に向けた認知症に対する理解促進を図りました。 実施：9 月、10 月、11 月（全 3 回）を掲載しました。</p>

	<p>2 介護予防事業</p> <p>(1)オーラルフレイル予防の普及啓発事業</p> <p>70 歳の高齢者に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防に関する情報を個別通知しました。また、区独自に鶴見区歯科医師会と連携して作成した啓発媒体を使用し周知するとともに、歯科医師等よりオーラルフレイルに関する個別指導を実施しました。</p> <p>実 施：6月 対象者：3,031 人</p> <p>(2)鶴見区オリジナル介護予防体操の啓発【拡充】</p> <p>「ひざひざワックン体操」啓発媒体を作成し、区役所や地域ケアプラザ等での配架や介護予防・健康づくりに関する機会において配布し、介護予防の推進を図りました。</p> <p>パンフレット：5,000 部 CD：200 枚 DVD：340 枚</p>
	<p>【区配事業】認知症支援事業 (健康福祉局)</p> <p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り良い環境の中で暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者SOSネットワーク ・認知症初期集中支援チーム ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等）
	<p>【区配事業】一般介護予防事業 (健康福祉局)</p> <p>住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーション事業 ・地域リハビリテーション活動支援事業 ・介護予防普及啓発事業（口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ体操指導者研修等）
	<p>【区配事業】地域包括ケアの推進 (健康福祉局)</p> <p>横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランに基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。</p>

<p>19 つるみ DE 子育て 応援事業</p> <p>予算 (2,851,000 円) 決算 (5,757,846 円) 差引 (△2,906,846 円)</p>	<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えました。</p> <p>1 地域育児教室 (赤ちゃん会) 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催しました。 実施：1会場あたり10回程度 (計206回) 会場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所</p> <p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援し、のぼり旗等を配布しました。 実施：50か所</p> <p>3 多言語窓口子育て支援事業 子育て関係のチラシや申請書類等を多言語に翻訳することで、窓口の区民サービス向上を図りました。</p> <p>4 区長表彰事業 スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒に対して区長表彰を行いました。 《4年度実績》 個人20名、団体6団体</p> <p>5 子育て情報普及啓発事業【拡充】 区役所1階の乳幼児健診会場にデジタルサイネージ、情報コーナーを整備し、妊娠期から出産、子育て期にわたるきめ細かい情報提供体制の充実を図りました。 また、子育てに関する情報誌「子育て応援ガイドブック」を発行しました。 部数：8,000部</p>
--	--

【局事業】乳幼児一時預かり事業

(こども青少年局)

養育者のリフレッシュを主な目的にした事業です。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場

(こども青少年局)

育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こまーま」「Coron」があります。

【区配事業】地域子育て支援拠点事業

(こども青少年局)

未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。

【区配事業】横浜子育てサポートシステム

(こども青少年局)

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。24年10月より子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業

(こども青少年局)

妊娠期または産褥期(5か月未満)にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図りました。

20 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】

予算(5,229,000円)
決算(2,897,728円)
差引(2,331,272円)

区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修や、園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施しました。

また、保育所選択の利便性を高める保育所紹介動画の作成、外国につながる子育て世帯に向けた言語別の出張相談会など、きめ細やかな入所支援を行いました。

1 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修の実施や、多文化理解につながるツール等を作成しました。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋げました。

2 保育所資源活用事業

(1)市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放しました。また、有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実しました。

会場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

(2)図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋げました。

会場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

	<p>3 保育所入所支援事業</p> <p>(1)保育所マップ等作成事業 認可保育所、地域型保育事業、認定こども園及び横浜保育室の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行しました。 ＜保育所一覧等の発行＞ 実施：10月、3月 部数：13,000部</p> <p>(2)外国につながる保護者向け出張相談会【新規】 外国につながる保護者や園児が安心して園生活を送れるよう、国際交流ラウンジと連携した言語別の出張相談会の開催など外国につながる子育て世帯に向けた入園支援を行いました。 ＜出張相談会＞ 実施：4回 対象：外国につながる子育て世帯</p> <p>(3)新型コロナウイルス対応関連事業【拡充】 新型コロナウイルスが蔓延している状況下でも、保育所選択の利便性を高めるため、引き続き、保育・教育コンシェルジュによるオンラインの個別保活相談を実施するとともに、新たに、区内保育所の紹介動画を作成しました。</p>
<p>【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業 (こども青少年局)</p> <p>区内を7か所のエリアに分け、市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施しました。また、保育の質向上研修を行いました。</p>	
<p>【局事業】保育所の運営 (こども青少年局)</p> <p>令和4年4月、認可保育所が1園開所しました。これにより、区内の保育所等は、116園となりました。</p>	
<p>21 鶴見区虐待予防事業</p> <p>予算 (2,574,000円) 決算 (2,442,492円) 差引 (131,508円)</p>	<p>子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV(ドメスティクバイオレンス)の予防を目指しました。</p> <p>1 親支援講座等 これまでに作成してきた各種子育てパンフレットを有効活用できるように動画を作成しました。また、身近な所で広く活用してもらえるように支援者向け研修を開催しました。</p> <p>(1)親支援講座の動画作成【新規】 子どもとのコミュニケーションのとり方や、効果的な伝え方・ほめ方等に関する動画「子育てパンフレットの使い方」を作成しました。</p>

	<p>(2) 支援者向け研修会 実施：年1回 対象：育児支援関係施設職員等 内容：動画「子育てパンフレットの使い方」の活用方法について</p> <p>2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による子育て中の親の相談（年42回） ・弁護士による相談（年8回） ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年5回） ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年10回） <p>3 虐待予防中学校等出張講座 中学校3年生を対象とした講座を行いました。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年生対象（3校） 性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること ・生徒指導専任教諭・養護教諭等対象（1回） 思春期に関する研修会
<p>【区配事業】 児童虐待予防啓発地域連携事業 （こども青少年局） 児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図りました。</p>	
<p>【局事業】 産後母子ケア事業 （こども青少年局） 虐待のリスクが高い母子を対象に、助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内15か所の助産所等で実施しました。</p>	
<p>22 生活衛生サポート事業</p> <p>予算（848,000円） 決算（849,980円） 差引（△1,980円）</p>	<p>食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートしました。</p> <p>1 食品衛生関係事業 (1) ノロウイルスによる食中毒の予防 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行いました。</p>

	<p>ア 鶴見区食事サービス連絡会衛生講習会 実 施：7月 会 場：鶴見区福祉保健活動センター 参加者：30人</p> <p>(2)食肉を原因とした食中毒の発生防止 食品関係営業施設への立入指導や、講習会などによる啓発を行いました。 実 施：通年 対 象：食品関係営業施設、一般消費者</p> <p>(3)H A C C Pによる衛生管理手法の導入に向けての支援を行いました。 実 施：通年 対 象：食品関係営業者</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行いました。 駆除機材の貸し出し件数：20件</p> <p>3 人と動物の共生推進事業</p> <p>(1)動物介在活動ボランティア支援事業 高齢者施設等への訪問ボランティア支援のため、参加する動物及び飼い主の審査会を開催しました。 実 施：11月 会 場：鶴見区役所 参加者：12人</p> <p>(2)犬猫の適正飼育の啓発</p> <p>ア 適正飼育講習会の開催 実 施：10月 会 場：鶴見区役所 参加者：26人</p> <p>イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 実施：10月、2月、3月 会場：寺尾小学校、地域集会所2カ所 参加者：185人</p> <p>(3)飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出し、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行いました。 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出し件数：14件</p>
--	--

<p>23 青少年健全育成事業</p> <p>予算 (1,450,000 円) 決算 (983,441 円) 差引 (466,559 円)</p>	<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進しました。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施しました。</p> <p>1 青少年交流活動推進事業</p> <p>(1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付しました。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援しました。 交付団体数：1 団体 実施：7月、1泊2日 参加人数：55名（運営側も含む）</p> <p>(2) 青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と中・高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。 実施：8月</p> <p>2 青少年の居場所運営支援事業 地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付しました。 交付事業数：4 事業</p>
---	--

【局事業】 よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助しました。

(事業内容)

地域における総合相談（電話相談、来所相談等）、ひきこもり状態からの回復期にある青少年の居場所の運営、社会体験や就労体験プログラムの実施、地域の関係支援機関・区役所とのネットワークづくり、応援パートナーの養成、派遣等

【区配事業】 寄り添い型生活支援事業 (こども青少年局)

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行いました。

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談（こども青少年局）

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行いました。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

<相談までの流れ>

受付方法：事前に電話等で予約

相談時間：13：30～16：20（各50分・3枠）

当日受付：鶴見区役所3階 こども家庭支援課4番窓口

【区配事業】寄り添い型学習支援事業（健康福祉局）

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行いました。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行いました。

24 鶴見区環境行動推進事業

予算（1,152,000円）

決算（1,033,134円）

差引（118,866円）

地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進しました。

1 環境行動PR事業
(1)環境行動の普及啓発

環境行動に興味をもってもらい、日常生活においてできる範囲で環境行動を実践するためのきっかけづくりを目的に、脱温暖化・3R夢行動の紹介、普及啓発を行いました。

◆主な取組

「つるみ・ちゅうみ展2023」の開催【新規】

横浜市内や沖縄県内の企業等と連携して「つるみ・ちゅうみ展2023」を2月に開催しました。イベントでは沖縄美ら海水族館の大水槽を体感できる3D映像の上映や、市内企業によるワークショップ、鶴見小学校の取組発表などを行い、多数の来場者に海洋環境保護について意識啓発を行いました。

	<p>実 施：2月11日、12日 場 所：鶴見区民文化センター サルビアホール 参加者：約1,500名</p> <p>(2)企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学 民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を取りまとめ、区内の小中学校に周知し、授業での活用を促しました。 実施回数：41回</p> <p>(3)鶴見区の広報媒体を活用した啓発活動【新規】 区内企業の脱炭素(CO2の排出量削減等)に係る事業・技術を広報よこはま鶴見区版に掲載し、区民の意識醸成を図りました。 【令和4年度取組結果】 R4掲載企業(全て区内企業) 10月…株式会社吉岡精工「IoTセンサーで電気使用量削減」 11月…キリンビール株式会社「環境にも人にも優しい包装箱」 12月…東京ガス株式会社「合成メタンでガスの脱炭素化に挑戦」 1月…ニイガタ株式会社「みらいにつながるクリーンエネルギーの究開発実験サポート」 3月…株式会社京三製作所「最先端の信号制御で脱炭素な交通に貢献」</p> <p>(4)鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議 実 施：6月</p> <p>2 緑のカーテン事業 緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所 の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施しました。</p> <p>(1)緑のカーテン 実 施：7～11月 場 所：区庁舎2階警察署側窓(戸籍課前) 土木事務所1階</p> <p>(2)壁面緑化 場 所：区庁舎1階警察署側壁面</p>
<p>25 つるみクリーンタウン事業</p> <p>予算(3,519,000円) 決算(3,381,070円) 差引(137,930円)</p>	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の目標である3R、特にごみと資源のリデュース(発生抑制)による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進しました。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進事業 3Rの推進につながる、分別、食品ロスの削減やプラスチックごみの削減に向けた普及、啓発活動を進めました。</p>

(1) 区民向けイベントでの3R啓発

- ア 三ツ池公園フェスティバル(5月) ◆中止
- イ つるみ臨海フェスティバル(10月)
- ウ つるみ3R夢フェスタ(7月) ◆中止
- エ つるみ夢ひろば in 総持寺(11月) ◆中止 ほか

(2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、区内各所でフードドライブ活動を実施・支援しました。

(3) 保育園等での環境学習

次代を担う子どもたちに、3Rやプラスチックごみの問題等を知ってもらい、環境に対する意識を高めるため、出前講座を行いました。

実 施：小学校2校、保育園10園

(4) 生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみの減量を目的とした環境にやさしい土づくり(土壌混合法)の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行いました。

実 施：小学校1校、区民向け講座(2回)

(5) 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実 施：6月 (24-1(4)(P.30)再掲)

(6) 分別相談対応

分別相談に随時対応するほか、外国人区民の方々が多いことも踏まえて、日本語教室等で分別講座を行いました。

実 施：外国人区民の方々への分別講座(4回)

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施しました。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体(自治会町内会、老人会、企業、学校等)へごみ袋や軍手を配布し、地域の清掃活動を支援しました。

実施回数：年2回

(2) まちかど花壇事業

不法投棄を防止し、「明るく、きれいな街」にするため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援しました。

実 施：春・秋(年2回)

(3) 鶴見川クリーンキャンペーン

鶴見川桜・緑化実行委員会の主催で、地域と共に鶴見川流域の清掃活動を行いました。

実 施：6月 ※11月は雨天中止

(4) 喫煙マナー啓発

ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行いました。

(5) 道路ふれあい月間

鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、鶴見駅東西自由通路の清掃や鶴見駅周辺のごみ拾い、道路に関するPR活動を行いました。

実 施：10月

【局事業】 不法投棄防止対策事業

(資源循環局)

不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行いました。

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

①【局事業】踏切対策 (道路局)

「横浜市踏切安全対策実施計画」(平成28年3月)に基づき、八丁畷第1踏切等の安全対策を実施しました。

②【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)

令和3年12月に車道を仮橋へ切り替え、令和4年度は、旧橋の撤去工事等を進めました。

③【局事業】鶴見川人道橋整備事業 (道路局)

令和3年は現地の事前調査や河川管理者との協議を進め工事着手し、令和4年度は、下部工の工事を進めました。

④【区配事業】公園施設改良事業 (環境創造局)

下野谷町第二公園ほか14公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施しました。

⑤【局事業】下水道整備工事 (環境創造局)

状態監視保全により鶴見地区、及び末吉地区などで下水道の再整備工事を実施しました。

⑥【局事業】下水道耐震化工事 (環境創造局)

地域防災拠点・応急復旧活動拠点・災害拠点病院等で下水道の耐震化工事を実施しました。

4 区民サービスの向上

事業名 (予算額)	事業概要
<p>26 鶴見区広報・広聴事業</p> <p>予算 (3,001,000 円) 決算 (2,668,457 円) 差引 (332,543 円)</p>	<p>増加する高齢者や外国人住民、転入してくる子育て世代等、区民に必要な情報が的確に届くよう様々な媒体を活用し、多角的な広報事業を展開しました。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し区政運営に反映させることを目的に広聴事業を展開しました。</p> <p>1 広報・広聴事業</p> <p>(1)区ウェブサイト等その他広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・ 多言語対応の広報紙閲覧サービスアプリの導入 ・ 鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR <p>(2)広聴事業</p> <p>「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集しました。</p> <p>広聴受付件数〔令和4年度：483件〕</p> <p>2 生活・防災マップ等発行事業</p> <p>(1)つるみ生活・防災マップ 〈1-1(6)(P.5)再掲〉</p> <p>発行：11～12月 部数：17,000部</p> <p>(2)鶴見区バスマップ</p> <p>発行：3月 部数：9,000部</p>
<p>27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～</p> <p>予算 (520,000 円) 決算 (301,150 円) 差引 (218,850 円)</p>	<p>区民が鶴見区に親しみを持っていただけるよう、各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子を発行しました。また、区役所で使用する窓口封筒等に区の概要を掲載して配布することで、広く区民への周知を図りました。</p> <p>各種統計データは、利用者が活用しやすいようホームページにオープンデータを掲載しました。</p> <p>発行：2月 冊子印刷部数：1,500部 (約1,200部配布済)</p>

<p>28 鶴見区人材育成 推進事業</p> <p>予算（3,983,000円） 決算（5,838,957円） 差引（△1,855,957円）</p>	<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図りました。</p> <p>また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催し人権啓発に取り組みました。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めました。</p> <table border="1" data-bbox="555 645 1433 882"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>実施内容等</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①窓口サービス向上</td> <td>満足度調査（来庁者アンケート）</td> <td>10月～随時</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②人権啓発研修</td> <td>責任職グループ研修</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>職員向け研修</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>③職員企画・提案型研修</td> <td>テーマ募集・研修実施</td> <td>7月～随時</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催しました。</p> <p>実 施：3月 会 場：サルビアホール 参加者：405人（オンライン配信を含む）</p> <p>3 ICTの活用促進 With コロナを前提としたオンライン会議システムの維持・管理等の環境整備や、庁内のペーパーレス促進による業務効率化を図りました。</p>	研修	実施内容等	実施時期	①窓口サービス向上	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時	②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月	職員向け研修	6月～随時	③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時
研修	実施内容等	実施時期													
①窓口サービス向上	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時													
②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月													
	職員向け研修	6月～随時													
③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時													
<p>29 魅力ある区役所 づくり事業</p> <p>予算（13,426,000円） 決算（17,115,410円） 差引（△3,689,410円）</p>	<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指し、4階税務課相談ブースのレイアウト変更や1階相談ブースにおける発券機の導入などを行いました。</p> <p>また、乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分（12時から13時までを除く）までの必要な時間、乳幼児を預かりました。</p>														

令和5年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議題 2

令和5年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について

議題2 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	38
2 放置自転車対策事業	40
3 交通安全推進事業	41
4 鶴見区防犯活動支援事業	42
5 自治会町内会振興事業	43
6 つるみ・地域の課題解決事業	43
7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	44
8 鶴見・あいねっと推進事業	44
9 「広げよう見守りの輪」推進事業	45
2 区内経済・活力の向上	
10 「千客万来つるみ」プロモーション事業	47
11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	47
12 商店街魅力発信事業	49
13 地域活性化支援事業	49
14 地域文化・区民活動推進事業	50
15 区民スポーツ振興事業	51
3 子どもから大人まで安心・元気に	
16 ヘルスアッププラン	52
17 感染症対策事業	53
18 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	54
19 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	55
20 つるみDE子育て応援事業【重点】	56
21 つるみの未来を育てる保育所事業	58
22 鶴見区虐待予防事業	59
23 生活衛生サポート事業	60
24 青少年健全育成事業	60
25 鶴見区環境行動推進事業	62
26 つるみクリーンタウン事業	63
4 区民サービスの向上	
27 鶴見区広報・広聴事業	64
28 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	64
29 鶴見区人材育成推進事業	65
30 魅力ある区役所づくり事業	65

令和5年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等執行状況

1 地域力の強化

事業番号 1 防災活動推進事業【重点】	予 算 額
	R 5 (14,700 千円) R 4 (13,770 千円) 差引 (930 千円)
風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図ります。	
1 自助・共助推進事業	
地域の防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付します。	
(1) 防災講座による啓発活動【拡充】	
地区ごとの災害リスクや防災関連施設等の情報を分かりやすくまとめた「地区別防災データ集」を用いて防災講座を行います。	
ア 出前防災講座	
実 施：6～3月（延30回程度）	
会 場：自治会町内会館、防災訓練会場、各地域ケアプラザ等	
イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室）	
実 施：通年（4校程度）	
内 容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業	
ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援	
実 施：6～8月（全3回）	
対 象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）	
(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動	
地域ごとの浸水リスクや避難場所をひと目で認識できるよう、電柱等に掲示した「まるごとまちごとハザードマップ」について、より見やすい標示に見直して更新を行います。	
(3) 地域防災拠点の運営力強化【拡充】	
地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕を行うとともに、備蓄庫を適切に維持管理できるよう支援を行います（備蓄庫の整理委託を9月より順次実施）。	
また、地域防災拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行います。	
ア 地域防災拠点参与研修：5月	
イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月	
ウ 全地域防災拠点での運営訓練：8～2月（31拠点）	

(4) 共助のための防災活動支援事業

地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し、補助金による支援を行います。

(5) 鶴見川防災対策事業

鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行います。

(6) つるみ生活・防災マップ

つるみ生活・防災マップを時点修正のうえ発行します。

発行：12月

部数：17,000部

2 区本部機能等強化事業

実災害に対応するための区本部機能の強化を図ります。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化

ア 災害対策本部設置運営訓練及び職員研修の実施

区本部訓練：9、1月

職員研修：7月～

イ ICTの活用による区本部と地域防災拠点の情報共有機能の強化【新規】

区本部と地域防災拠点にICT機器を整備し、画像情報等をタイムリーに共有することで、区本部が拠点運営を迅速・的確に支援できるようにします。

(2) 災害ボランティアネットワークへの活動支援

日常的な訓練や啓発活動、また、発災時に災害ボランティアセンターの運営が円滑に行われるよう支援を行います。

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。

(1) 区内医療機関等との通信訓練

区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施します。

実施：毎月（奇数月：区→区内医療機関等、偶数月：区→市医療局）

※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図ります。

開催：年2、3回程度

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と地元町内会などが連携した災害医療訓練を実施します。

実 施：年1、2回程度

会 場：済生会横浜市東部病院、医療救護隊参集拠点（汐田総合病院、鶴見区休日急患診療所、平和病院）、地域防災拠点、福祉避難所、鶴見区役所 など

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業（総務局）

若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会等を実施します。

【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業（総務局）

地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付します。

【区配事業】町の防災組織活動支援事業（総務局）

災害による被害の予防・軽減のため、自治会町内会や共同住宅の管理組合を単位として自主防災活動を行う「町の防災組織」を支援するため補助金を交付します。

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用します。

事業番号 2 放置自転車対策事業	予 算 額
	R 5 (4,707 千円) R 4 (5,480 千円) 差引 (△773 千円)
駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。	
1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夜間）するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施します。	
2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援します。 対 象：6 駅（JR鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅） 補助金交付：6 月	

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 （道路局）

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。

【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託（昼間） （道路局）

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。

事業番号 3 交通安全推進事業	予 算 額
	R 5 (2,069 千円) R 4 (2,309 千円) 差引 (△240 千円)
<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。</p> <p>1 交通安全啓発事業</p> <p>(1) 交通安全運動</p> <p>各季全国安全事業や、小学校・保育園の新入学・入園、自転車マナーアップなどの強化月間などの機会にあわせて、交通安全運動を実施します。</p> <p>(2) 区交通安全対策協議会の運営</p> <p>ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会、総会の実施</p> <p>イ 交通安全功労者表彰</p> <p>区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰します。</p> <p>(3) 交通安全講習会</p> <p>区内小学校などで、はまっ子交通安全教室やチリリンスクール（自転車乗り方教室）を実施します。また、企業・団体、自治会町内会などに向け、自転車事故防止のための安全講習などを行います。</p> <p>(4) 新入学児童向けランドセルカバーの配布</p> <p>鶴見交通安全協会と協力して、鶴見区マスコットキャラクター“ワックン”のイラスト入りランドセルカバーを製作し、新入学児童に配布します。</p> <p>2 学校への支援</p> <p>区内小学校 22 校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援します。</p> <p>また、通学路の安全を確保するために、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、通学路の点検を実施し、路面表示等の新設・補修・撤去を行います。</p>	

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】 スケアードストレイト※方式による交通安全教室の実施委託（道路局）

スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施委託します。

※スケアードストレイト：交通事故を再現することで、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育

事業番号 4 鶴見区防犯活動支援事業	予 算 額 R 5 (2,080 千円) R 4 (2,774 千円) 差引 (△694 千円)
地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。	
1 防犯啓発活動	
(1) 地域防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催します。	
(2) 犯罪発生情報の提供 メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供します。	
(3) 振り込め詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、区民への注意喚起を実施します。	
2 子ども防犯活動支援事業	
(1) 保育園児に対する子ども防犯教室の開催	
(2) 「子ども 110 番の家」のプレートの提供	
(3) 児童下校時見守り活動	
3 地域防犯活動支援事業	
地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行います。	
(1) 防犯パトロール	
児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的とした防犯パトロールを実施します。また、自治会町内会などの自主防犯活動を支援するため、防犯パトロール活動に必要な物品を提供します。	
(2) 迷惑電話防止機器の貸与	
振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与します。	

事業番号 5 自治会町内会振興事業	予 算 額
	R 5 (3,694 千円)
	R 4 (3,115 千円)
差引 (579 千円)	

地域活動の振興等に関連する行政や団体からの情報提供や、自治会町内会の活動支援を行います。

- 1 地域振興連絡事業
区自治連合会の定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行います。
実 施：毎月（8月を除く）
- 2 地域活動支援事業【拡充】
ICTを活用した自治会町内会の課題解決や地域活動の促進を支援します。
実 施：通年
- 3 自治会町内会長感謝会
自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈します。
実 施：3月
感謝状対象：自治会町内会長5年
記念品対象：自治会町内会長5年毎、地区連合町内会長10年毎

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域活動推進費（市民局）

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。

【区配事業】自治会町内会館整備助成事業（市民局）

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。

事業番号 6 つるみ・地域の課題解決事業	予 算 額
	R 5 (4,000 千円)
	R 4 (4,950 千円)
差引 (△950 千円)	

地域課題のうち、地域主体の取組だけでは解決が困難かつ早急に解決が必要な事案等に対し、区として機動的に対応するための支援や調査を実施します。

事業番号 7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	予 算 額
	R 5 (1,220 千円)
	R 4 (1,100 千円)
差引 (120 千円)	

区民や企業・団体等が自主的に実施する地域の課題解決に向けた活動に対し、補助事業の実施やアドバイザー派遣等による支援を行います。

1 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業

地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援します。

交付団体数：8 団体

2 鶴見区地域活動支援アドバイザー派遣事業

地域の課題解決に取り組む団体等が活動を継続・発展させるため、アドバイザーを派遣します。(11 月～12 月実施予定)

3 地元企業を対象とした地域貢献講座【新規】

多くの企業や工場が立地する鶴見区の特徴を活かし、企業が地域活動に参画するためのノウハウを学ぶ地域貢献講座を実施することで、企業と地域の関係が深まり協働の取組が進む機会を作ります。(12 月～1 月実施予定)

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域の担い手応援事業 (市民局)

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

(事業内容)

協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施します。

事業番号 8 鶴見・あいねっと推進事業	予 算 額
	R 5 (1,031 千円)
	R 4 (1,347 千円)
差引 (△316 千円)	

鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みます。

1 第4期区計画の推進

3 年度から 7 年度までを計画期間とする第 4 期計画について、その推進を図ります。

(1) 鶴見・あいねっと推進委員会

区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催します。

推進委員会：7 月、1 月

(2) 地区別計画の推進

地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図ります。

会 場：区内地域ケアプラザほか

参加者：延約 3,000 人

〈地区別支援チーム〉

連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。

2 あいねっと推進フォーラムの開催

区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催します。

実 施：2月

会 場：鶴見公会堂

参加者：約 500 人

事業番号 9

「広げよう見守りの輪」推進事業

予 算 額

R 5 (1,470 千円)

R 4 (1,776 千円)

差引 (△306 千円)

ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の強化・促進を図ります。

1 定期訪問・見守り活動支援

救急医療情報キットを配布し、緊急時の迅速な対応に役立てます。

また、熱中症や事故予防等の保健に関する配布物を企画するなど、訪問・見守り活動の一助となる取組を充実させていきます。

定期訪問・見守り活動対象者数：2,880名（5年3月末現在）

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

災害発生時に自助・共助が行われる地域を目指し、民生委員・児童委員、自治会・町内会に対して、災害時要援護者名簿を活用した取組事例の共有や地域と災害時要援護者の関係づくりを促すためのリーフレットを提供し、平常時からの災害に備えた地域の取組を支援します。

令和5年6月1日現在

＜災害時要援護者名簿の提供＞

	自治会・町内会数	対象者数	名簿登載者数	名簿登載率
同意方式	25	2,172人	1,278人	約58%
情報共有方式	101	7,803人	6,584人	約85%
合計	126	9,975人	7,862人	約79%

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）

75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施します。

【区配事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行えるよう、災害時要援護者名簿を作成、地域に提供し、自主的な取組を支援します。

2 区内経済・活力の向上

事業番号 10 「千客万来つるみ」プロモーション事業	予 算 額
	R 5 (7,500 千円) R 4 (7,650 千円) 差引 (△150 千円)
<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、プロモーション活動やイベントを実施します。</p> <p>1 区の魅力づくり 令和4年度前期のNHK連続テレビ小説「ちむどんどん」では、鶴見区がドラマの舞台地として登場し、地域、団体、企業、大学等様々な主体と連携した取組を企画・実施しました。こうした地域の賑わいやつながりの発展に向け、引き続き、ニーズを的確に捉えながら、様々な主体との連携のもと、地域活性化策に取り組みます。</p> <p>2 区の魅力発信 「ことりっぷ横浜鶴見」や「沖縄タウン鶴見マップ」など、区内の見どころスポットやイベントなどを紹介する媒体を作成し、鶴見区の魅力発信に取り組みます。</p> <p>■■ 関連する事業 ■■</p> <p>【区配事業】 ガーデンシティ事業 (環境創造局) ガーデンネックレス横浜 2023 開催に伴い、局と連携した事業を実施します。</p>	

事業番号 11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	予 算 額
	R 5 (14,626 千円) R 4 (14,503 千円) 差引(123 千円)
<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言 (平成 20 年 6 月)」に基づき、鶴見区の多文化共生を推進するための事業を実施します。</p> <p>1 生活情報の発信【拡充】 行政からの情報が届きにくい外国籍区民を対象に、広報よこはまに掲載されている情報や日常生活の役に立つ情報を、インターネットや Facebook 等を使ってわかりやすく発信します。 また、外国籍区民が生活情報を気軽に入手できるようにするため、日常的に利用する小中学校や保育園、店舗等にリーフレット等を配置する「情報発信拠点 (仮称)」の設置を進めます。</p> <p>2 タブレット端末による多言語対応事業 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等 設置台数：9 台 ※経費の一部は国際局予算を活用。</p>	

3 翻訳推進事業

庁内各課において作成した資料等の多言語翻訳について、区で取りまとめ、一括契約を行います。

4 多文化共生社会の実現に向けた調査・啓発事業

各調査結果を関係機関や庁内会議において共有するとともに、多文化共生の推進に係る今後の方向性を示し、区全体の機運の醸成を図ります。

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行います。

(1) 相談対応・情報提供

ア 9言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、日本語）による相談対応

イ 情報誌「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行

発行：年6回（5年度は年5回）

ウ ホームページの運営

エ SNSを活用した情報発信

(2) 各種教室の実施

館内 Wi-Fi を活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種教室を実施します。

ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス

実施：13回程度 参加者：延40組

イ 学習支援教室

日本語指導を必要とする子どもたちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでも実施します。

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

実施：5回程度 参加者：延100人

エ 日本語ボランティア養成講座

(ア) 入門講座

実施：10回 参加者：延130人

(イ) ブラッシュアップ講座

実施：5回 参加者：延130人

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】日本語支援推進事業（教育委員会事務局）

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行います。

【区配事業】外国人の集住が進む5区の国際交流ラウンジ機能強化（国際局）

外国人集住5区（鶴見・中・南・緑・都筑区）への地域課題解決・活躍促進専任スタッフの配置を行います。

事業番号 12 商店街魅力発信事業	予 算 額
	R 5 (1,800 千円)
	R 4 (1,300 千円)
地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援します。	
1 鶴見区商店街魅力発信支援事業 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援します。	
2 商店街にぎわい創出事業【拡充】 区内の複数商店街を周るスタンプラリーを実施することで来街を促し、商店街ににぎわいを創出します。	
■■ 関連する事業 ■■	
【区配事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助します。	
【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助します。(新設・改修・撤去)	
【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助します。	

事業番号 13 地域活性化支援事業	予 算 額
	R 5 (3,500 千円)
	R 4 (3,500 千円)
差引 (0 千円)	
新しい生活様式の中でも地域とのつながりを感じられるよう、二つの区民まつりの開催を支援します。区民まつりが実施困難な場合にも、代替となる地域主体のイベント等を支援し、地域活性化を図ります。	
1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会を創ることで、区民の地域に対する興味・関心の向上を図り、地域活性化へ繋がります。 実 施：5月20日(土) 参加者：46,000人 会 場：県立三ツ池公園 内 容：模擬店、ステージ発表、リサイクル関連イベント等	
2 つるみ臨海フェスティバル 臨海部に親しみ、愛着を深め、子どもから高齢者まで幅広い世代の誰もが気軽に参加できる場を創り、地域交流を推進します。 実 施：10月 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験等	

事業番号 14 地域文化・区民活動推進事業	予 算 額
	R 5 (2,982 千円) R 4 (2,845 千円) 差引 (137 千円)
<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。</p> <p>また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施します。</p>	
<p>1 地域文化推進事業</p> <p>鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくります。</p>	
<p>2 つるみ区民活動センター事業</p> <p>(1) 相談・コーディネート・機材貸出</p> <p>(2) 情報提供・ボランティア登録</p> <p>ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」の発行</p> <p>イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録</p> <p>(3) 講座・イベントの実施</p> <p>ア 生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」</p> <p>イ 生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」</p> <p>ウ 区民活動紹介展「鶴魅力」 ほか</p> <p>(4) 区民利用施設間の連携強化</p> <p>施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施します。</p>	
<p>3 読書活動推進事業</p> <p>読書推進に関する施設連絡会や講演会を開催します。</p> <p>(1) 鶴見読書関連施設連絡会</p> <p>開催月：6月 参加施設：鶴見図書館、地区センター、コミュニティハウス、つるみ区民活動センター</p> <p>(2) つるみ読書講演会</p> <p>実施：12月</p>	
<p>4 一時託児推進事業</p> <p>保育協力者養成講座を開催します。</p>	
<p>■■ 関連する事業 ■■</p> <p>【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）</p> <p>「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施します。</p>	

事業番号 15 区民スポーツ振興事業	予 算 額
	R 5 (550 千円) R 4 (550 千円) 差引 (0 千円)
区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めるため、鶴見区スポーツ協会の活動支援を行います。	

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業番号 16 ヘルスアッププラン	予 算 額
	R 5 (1,926 千円) R 4 (1,693 千円) 差引 (233 千円)
<p>区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばすため、健康に関する講座や啓発等を実施します。</p> <p>日常生活のなかで誰もが気軽に取り組める健康づくり活動を推進するため、鶴見区のウォーキングマップを作成します。</p> <p>1 生活習慣病予防</p> <p>(1) あらゆる世代への健康啓発 地域での講座やイベント、区民利用施設等で生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行います。 会 場：区民利用施設、町内会館等 対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民</p> <p>(2) 運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を行います。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）</p> <p>(1) 親子わくわく歯っぴい講座 歯が生え始めた児とその保護者を対象にむし歯予防や歯磨き方法についての講座を実施します。 また、保護者を対象に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行います。 実 施：年12回 会 場：区役所 参加者：各回12組 対象者：6か月から13か月未満の乳幼児と保護者</p> <p>(2) 歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 6月の「歯と口の健康週間」や10月の健康づくり月間、両親教室（月1回）の機会に歯周病やオーラルフレイル予防の啓発を行います。</p> <p>3 食育事業</p> <p>(1) 食育イベントおよび食育研修会 6月の「食育月間」や10月の「健康づくり月間」等で、食育に関する啓発を行います。また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を年1回実施します。</p> <p>(2) 幼児の食育講座 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行います。 実 施：年6回 参加者：各回20組 対象者：1歳6か月児～2歳児と保護者</p>	

(3) 食育ミニ講座

3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施します。

実 施：年 36 回

参加者：延 2,200 組

対象者：3歳児と保護者

(4) 離乳食教室

健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やします。

実 施：年 12 回 ※合計 24 回

参加者：各回 20 組

対象者：7～9か月児と保護者

4 鶴見区健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施します。

また、庁内各課や関係機関と連携して、鶴見区内のウォーキングマップを作成し、日常生活の中で楽しみながら健康づくりができる仕組みづくりを進めます。

実 施：庁内連絡会（5月、10月）

健康づくり推進会議（11～12月）

ウォーキングマップ作成（10月）【新規】

対 象：区内の民間企業、関係団体等

事業番号 17

感染症対策事業

予 算 額

R 5 (719 千円)

R 4 (1,109 千円)

差引 (△ 390 千円)

区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行います。

また新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修や他機関との連携強化を図ります。

1 区内施設向け啓発

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設などの関連施設に情報提供します（8月頃）。

2 感染症対策指導者養成研修

新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に、施設の施設管理者や従事者を対象とした研修を行い、対策強化につなげます。

実 施：9～11月（2回）

参加者：延 80 人

3 区職員向け研修・訓練

新型インフルエンザや新興感染症・輸入感染症の発生に備え、職員が適切に対応できるよう研修と訓練を実施します。

実 施：10月頃

会 場：区役所

4 臨海3区連絡会

近隣自治体（川崎市川崎区、東京都大田区、鶴見区）と感染症連絡会を開催し、感染症対応に関する連携強化を図ります。

実 施：2月頃

事業番号 18

鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業

予 算 額

R 5 (475 千円)

R 4 (525 千円)

差引 (△50 千円)

障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めます。

1 鶴見区地域自立支援協議会の推進

障害児・者が地域で生活していくことを支援する関係機関等が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催します。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施します。

＜構成員＞（令和5年7月1日現在）

基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、支援学校、地域ケアプラザ等 91 機関

(1) 会議

・代表者会議：年1回

・担当者会議：年4回

このほか、専門部会3部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）をそれぞれ隔月で開催します。

(2) 研修

関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施します。

実 施：年4回

2 障害理解の推進

地域のボッチャ大会への参加や障害者週間に合わせたイベントの実施、福祉施設の自主製品等のPR、販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に繋がります。

(1) 地域のボッチャ大会への参加

スポーツ推進委員連絡協議会主催のボッチャ大会参加を通じた地域との交流を図ります。

実 施：6月18日（日）

場 所：鶴見スポーツセンター

参加人数：104人（24チームのうち障害のある方のチームは2チーム参加）

(2) 障害者週間イベント

施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行います。

実 施：12月（障害者週間に合わせて実施）

会 場：区役所1階ロビー等

3 専門職のスキルアップ研修の実施

社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施します。

実 施：年7回

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】自殺対策事業（健康福祉局）

横浜市自殺対策計画に基づき、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「ゲートキーパー」の育成や普及啓発の推進に取り組めます。

- ・区職員等向けゲートキーパー研修の実施
- ・自殺対策強化月間（9月、3月）において啓発動画放映の実施
- ・相談支援機関等の職員を対象とした自殺に関する研修の実施

事業番号 19 鶴見区高齢者はつつ生活応援事業	予 算 額
	R 5 (1,268 千円) R 4 (1,145 千円) 差引 (123 千円)
高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行います。	
1 認知症普及啓発事業 認知症の当事者を家族で介護する方々が地域で安心して介護し、生活することができるよう、地域の「気づき・見守り」といった支援力をより一層高めるための講演会を実施します。 実 施：10月26日 会 場：鶴見公会堂 参加者：約350人程度	
2 介護予防事業【拡充】 (1) 鶴見区フレイル予防の動画作成・デジタルサイネージ放映 フレイル予防の重要性を幅広い世代に啓発するため、フレイル予防動画を作成し、鶴見管内のバス路線や区庁舎のデジタルサイネージ等で放映します。 (2) オーラルフレイル予防の普及啓発事業 70歳の高齢者に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防に関する情報を個別通知します。また、鶴見区歯科医師会と連携し、検診受診者に対し歯科医師等よりオーラルフレイルに関する個別指導を実施します。 実 施：6月 対象者：2,876人	

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】認知症支援事業（健康福祉局）

認知症になっても本人の意思が尊重され、その人らしく暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。

- ・認知症高齢者等SOSネットワーク
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座開催への支援、キャラバン・メイトの育成等）

【区配事業】一般介護予防事業（健康福祉局）

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めます。

- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・介護予防普及啓発事業（オーラルフレイル・フレイル予防、ひざひざワックン体操の普及等）

【区配事業】地域包括ケアの推進（健康福祉局）

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランに基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。

事業番号 20 つるみDE子育て応援事業【重点】	予算額
	R 5（5,332千円） R 4（2,851千円） 差引（2,481千円）
<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。</p> <p>1 地域育児教室（赤ちゃん会） 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催します。 実施：1会場あたり10回程度（年200回程度） 会場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所</p> <p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援し、のぼり旗等を配布します。 実施：51か所</p>	

- 3 多言語窓口子育て支援事業
子育て関係のチラシや申請書類等を多言語に翻訳することで、窓口の区民サービス向上を図ります。
- 4 学校・地域連携促進事業（旧区長表彰事業）
学校と地域の連携を促進する学校の活動に対して区長の感謝状を贈呈します。
- 5 子育て情報普及啓発事業【拡充】
地域の子育てに関する情報のきめ細かな提供のため、地域子育て支援拠点のホームページに子育て情報を整理・集約するほか、外国籍の方向けのコンテンツの作成を行います。また、名刺サイズのカードにホームページを二次元コードとして印字し配布することで、養育者が当該コンテンツへアクセスしやすくします。
また、子育てに関する情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を発行します。
部 数：8,000部
- 6 弁護士相談事業【新規】
増加する外国籍居住者への迅速・適切な支援を行うため、外国籍であることによる法的な課題に対し、職員が弁護士へ相談できる体制を整備します。

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）

養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場（こども青少年局）

育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」があります。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業（こども青少年局）

妊娠期または産褥期（5か月未満）にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。

【区配事業】地域子育て支援拠点事業（こども青少年局）

未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。

【区配事業】横浜子育てサポートシステム（こども青少年局）

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。鶴見区では子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

事業番号 21 つるみの未来を育てる保育所事業	予 算 額
	R 5 (3,811 千円)
	R 4 (5,229 千円)
差引 (△1,418 千円)	

区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修や園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施します。

また、引き続き、保育・教育コンシェルジュによる個別保活相談を実施するとともに、新たに外国籍子育て世帯に向けた保育所等一覧・マップの多言語版の作成など、きめ細やかな入所支援を行います。

1 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施します。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。

2 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放します。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実します。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がります。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

認可保育所、地域型保育事業及び認定こども園の定員、保育時間及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行します。

また、新たに保育所等一覧・マップの多言語版を作成するほか、保育所入所申請等の手続きをオンラインでわかりやすくご案内するツールを新たに導入します。

＜保育所一覧等の発行＞

実 施：10月、3月

部 数：13,000部

対応言語：英語、中国語、ベトナム語等

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）

市立保育所を中心に認可保育所などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施します。また、保育の質向上研修を行います。

事業番号 22 鶴見区虐待予防事業	予 算 額
	R 5 (3,073 千円)
	R 4 (2,574 千円)
差引 (499 千円)	

子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指します。

1 親支援講座

子どもとのコミュニケーション学習を目的とした講演会、支援者向け研修会を開催します。

(1) 子育て講演会

実 施：年1回

対 象：2歳前後の児を持つ保護者

内 容：イヤイヤ期への対応を中心とした講義

(2) 支援者向け研修会

実 施：年1回

対 象：育児支援関係施設職員等

内 容：虐待予防に関する知識の共有

2 専門家相談【拡充】

子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行います。

- ・臨床心理士による子育て中の親の相談（年72回）
- ・弁護士による相談（年8回）
- ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年12回）
- ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年10回）

3 虐待予防中学校等出張講座

中学校3年生を対象とした講座を行います。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施します。

- ・中学校3年生対象

性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること

- ・生徒指導専任教諭・養護教諭等対象

思春期に関する研修会

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】児童虐待予防啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。

【局事業】産後母子ケア事業（こども青少年局）

助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内15か所の助産所等で実施します。

事業番号 23 生活衛生サポート事業	予 算 額
	R 5 (673 千円) R 4 (848 千円) 差引 (△175 千円)
<p>食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。</p> <p>1 食品衛生関係事業</p> <p>(1) ノロウイルスによる食中毒の予防 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行います。</p> <p>ア 鶴見区食事サービス連絡会衛生講習会 実 施：7月 会 場：鶴見区福祉保健活動センター 参加者：15人</p> <p>イ 学童関係講習会関係 実 施：7月 会 場：学童施設 参加者：25人</p> <p>(2) アニサキスや食肉を原因とした食中毒の発生防止 食品関係営業施設への立入指導、講習会やSNSなどによる啓発を行います。</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行います。</p> <p>3 人と動物の共生推進事業</p> <p>(1) 犬猫の適正飼育の啓発 ア 適正飼育講習会の開催 実 施：8月、10月、1月 イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 ペット飼育場所開設キットを全地域防災拠点（31拠点）に配布：6月</p> <p>(2) 飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行います。</p>	

事業番号 24 青少年健全育成事業	予 算 額
	R 5 (1,195 千円) R 4 (1,450 千円) 差引 (△255 千円)
<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施します。</p>	

1 青少年交流活動推進事業

(1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業

小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付しました。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援しました。

交付団体数：1団体

実施：7月

(2) 青少年育成サイエンス交流事業

横浜サイエンスフロンティア高等学校及び区内企業と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創ります。

実施：8月

2 青少年の居場所運営支援事業

地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付します。

交付事業数：4事業

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助（こども青少年局）

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談（こども青少年局）

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

【区配事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【区配事業】寄り添い型学習支援事業（健康福祉局）

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行います。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行います。

事業番号 25 鶴見区環境行動推進事業	予 算 額
	R 5 (2,000 千円) R 4 (1,152 千円) 差引 (848 千円)
地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進します。	
<p>1 環境行動PR事業</p> <p>(1) 環境行動の普及啓発</p> <p>環境行動に興味をもってもらい、実際に実践するためのきっかけづくりを目的に、事業者等と連携したSDGsに関連する企画や、広報よこはまを活用した区内企業の脱炭素に係る取組のPR等を実施します。</p> <p>◆取組状況</p> <p>【つるみ・ちゅらうみ サマースクール】の開催</p> <p>横浜市内・沖縄県内の企業や港湾局等と連携して「つるみ・ちゅらうみ サマースクール」を開催しました。沖縄美ら海水族館の大水槽を体感できる3D映像の上映やワークショップ、鶴見小学校の取組発表、啓発パネルの展示、スカイウォークでの特別講座等、区内複数会場において、多数の来場者に海洋環境保護の取組についてPRを行いました。</p> <p>実 施：7～8月</p> <p>場 所：鶴見区民文化センターサルビアホール、LICOPA 鶴見、鶴見図書館、横浜ベイブリッジスカイウォーク</p> <p>参加者：約1,800名</p> <p>(2) 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学</p> <p>民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を「鶴見区 企業の出張授業と工場見学の手引き」として取りまとめ、区内の小中学校に周知し、授業での活用を促します。</p> <p>(3) 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議</p> <p>実 施：6月</p> <p>2 緑のカーテン事業</p> <p>緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施します。</p> <p>(1) 緑のカーテン</p> <p>実 施：7～11月</p> <p>場 所：区庁舎2階警察署側窓（戸籍課前）、土木事務所1階</p> <p>(2) 壁面緑化</p> <p>場 所：区庁舎1階警察署側壁面</p> <p>3 区民利用施設照明設備LED化事業【新規】</p> <p>区民利用施設の照明設備をLED化することにより、温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化対策に取り組みます。</p>	

事業番号 26 つるみクリーンタウン事業	予 算 額
	R 5 (3,412 千円)
	R 4 (3,519 千円)
差引 (△107 千円)	

横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」の目標である3R、特にリデュース（ごみの発生抑制）による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進します。

1 ヨコハマ3R夢推進事業

食品ロスやプラスチックごみの削減、ごみの分別について普及、啓発を進めます。

(1) 区民向けイベントでの3R啓発

- ア 三ツ池公園フェスティバル(5月20日)
- イ つるみ臨海フェスティバル(10月)
- ウ つるみ3R夢フェスタ(7月29日 約450人) ほか

(2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、フードドライブ活動を実施・支援します。

(3) 保育園等での環境学習

子どもたちの意識を高めるため、小学校・保育園を対象に出前講座を行います。

(4) 生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみを活用した土づくり（土壌混合法）の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行います。

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体へごみ袋や軍手を配布し、清掃活動を支援します。
実施回数：年2回

(2) まちかど花壇事業

不法投棄を防止するため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援します。
実 施：春・秋（年2回）

(3) 喫煙マナー啓発

ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行います。

(4) 道路ふれあい月間

鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、鶴見駅東西自由通路の清掃や鶴見駅周辺のごみ拾い、道路に関するPR活動を行います。
実 施：10月

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 不法投棄防止対策事業（資源循環局）

不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。

4 区民サービスの向上

事業番号 27 鶴見区広報・広聴事業	予 算 額
	R 5 (3,202 千円) R 4 (3,001 千円) 差引 (201 千円)
<p>増加する高齢者や外国人住民、転入してくる子育て世代等様々な区民に対し、広報よこはま、区ウェブ、SNS等の媒体を活用し必要な情報をわかりやすく正確に発信するとともに、広く区内外に向け鶴見の魅力を発信することで、鶴見に対する愛着や信頼を高めていきます。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し、区政運営に反映させることを目的に、広聴事業を展開します。</p> <p>1 広報・広聴事業</p> <p>(1) 区ウェブサイト等その他広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応の広報誌閲覧サービスアプリによる発信 ・SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・鶴見区のマスコットキャラクター『ワックくん』の活用による区のPR <p>(2) 広聴事業</p> <p>「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集します。</p> <p>広聴受付件数〔令和4年度：483件〕</p> <p>2 生活・防災マップ等発行事業</p> <p>(1) つるみ生活・防災マップ 〈事業番号1-1(6)(P.39)再掲〉</p> <p>発行：12月 部数：17,000部</p> <p>(2) 鶴見区バスマップ</p> <p>発行：3月 部数：9,000部</p>	

事業番号 28 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	予 算 額
	R 5 (438 千円) R 4 (520 千円) 差引 (△ 82 千円)
<p>各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子を発行します。また、区役所で使用する窓口封筒等に区の概要を掲載して配布することで、広く区民への周知を図ります。</p> <p>各種統計データは、利用者が活用しやすいようホームページにオープンデータを掲載しています。</p>	

事業番号 29 鶴見区人材育成推進事業	予 算 額
	R 5 (1,165 千円) R 4 (1,165 千円) 差引 (0 千円)
<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識しうるよう人権啓発に取り組みます。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めます。 (1) 人権啓発研修（責任職グループ研修、職員向け研修） 6月～ (2) 職員企画・提案型研修 7月～ (3) 改革推進委員会 7月～</p> <p>2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。 実 施：12月 会 場：鶴見公会堂 参加者：500人 別途、動画撮影しオンライン配信も実施します。</p>	

事業番号 30 魅力ある区役所づくり事業	予 算 額
	R 5 (15,206 千円) R 4 (16,244 千円) 差引 (△1,038 千円)
<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。</p> <p>1 魅力ある区役所づくり 区役所窓口や事務スペース及び庁舎周辺の環境の整備・改善を図り、来庁者が利用しやすく、清潔かつ快適な区役所にします。</p> <p>2 一時託児サービス 乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分（12時から13時までを除く）までの必要な時間、乳幼児を預かります。</p> <p>3 ICTの活用促進 オンライン会議システムやサーバーの維持・管理、庁内のペーパーレス化などICT環境の整備による区民サービスの向上や業務効率化を図ります。</p>	

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

① 【局事業】踏切の安全対策 (道路局)

歩行者の安全な通行に課題のある踏切について順次、カラー舗装等の安全対策を進めていきます。

② 【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)

令和4年度は、旧橋梁の上部工や橋台・橋脚の撤去工事を実施しました。令和5年度は、引き続き、撤去工事を行うとともに新橋梁の工事に着手します。

③ 【局事業】鶴見川人道橋整備事業 (道路局)

令和4年度は、左岸右岸ともに下部工工事に着手しました。令和5年度も、引き続き工事を実施し、令和7年春の供用開始を目標に事業を進めます。

④ 【局事業】(仮称)北寺尾六丁目公園 (環境創造局)

令和5年度は、実施設計および公園整備工事を行います。令和6年度に完成を予定しています。

⑤ 【区配事業】公園施設改良事業 (環境創造局)

矢向二ヶ領公園ほか9公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施します。

⑥ 【局事業】下水道整備工事 (環境創造局)

引き続き、状態監視保全により鶴見地区、及び末吉地区などで下水道の再整備工事を実施します。

⑦ 【局事業】下水道耐震化工事 (環境創造局)

地域防災拠点・応急復旧活動拠点・災害拠点病院等で下水道の耐震化工事を実施します。

令和6年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）

令和6年度の鶴見区予算では、「横浜市中期計画 2022～2025」の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」のもと、次の3つの重点施策に取り組みます。また、DXの推進や協働・共創の視点等も踏まえつつ、区の特性に応じた事業・サービスを推進していきます。

< 3つの重点施策 >

1 地域力の強化

風水害、地震及び都市災害等に備え、自助・共助の取組推進など、地域における防災力の向上を図るとともに、地域と連携した防犯・交通安全対策など、地域力強化の取組を進めます。

2 区内経済・活力の向上

多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる多文化共生事業の推進や、地域・企業・大学等様々な主体との連携により、鶴見区内の地域資源を活かした賑わいづくりを進めます。

3 子どもから大人まで安心・元気に

身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させ、子育てしたくなるまち、ひいてはあらゆる世代がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

< 施策実現に向けた行政運営 >

人権や多様性を尊重し、市民目線とスピード感をもって、区民の皆さまに寄り添ったサービスを提供し、信頼される区役所づくりを進めます。

令和5年8月25日
健康福祉局福祉保健課

令和5年度 個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の取組について （対象地区を2区から5区へ拡大します）

個別避難計画については、国の取組指針により優先度が高いと判断される方（洪水浸水想定区域に居住、当事者の心身の状況、独居等の居住実態など）について、地域の実情を踏まえながら、法改正からおおむね5年程度（令和7年度）までに作成に取り組むこととされています。

本市では、令和4年度から鶴見区と港北区の一部地区でモデル事業に取り組んできましたが、令和5年度は対象区を2区から5区へ拡大して取り組みますので、ご報告させていただきます。

1 令和5年度の取り組みについて

ア 対象地区の拡大（2区から5区）

令和4年度にモデル事業を行った鶴見区、港北区は、モデル地区以外の地区（全域）に対象を広げてまいります。また、洪水浸水想定区域に居住する対象者が多い南区、保土ケ谷区、戸塚区の3区全域へ対象地区を拡大します。

イ 実施方法

対象地区のケアマネジャーや計画相談員（以下「福祉専門職等」という。）等に研修を実施します。その後、洪水浸水想定区域等に居住する災害時要援護者の中から、要介護度といった身体状況等により抽出した対象者へ調査票を送付するとともに、福祉専門職等の協力により状況確認と個別避難計画作成の働きかけを行います。

モデル事業の検証結果を生かし、事業フローや様式を一部変更して効率化や負担軽減を図りながら作成を進めてまいります。

2 令和6年度以降の取組について

事業検証を進めながら、段階的に18区まで拡大してまいります。

3 今年度のスケジュール

9月 該当区の区づくり推進横浜市議員会議、区連会等で報告

10月 福祉専門職等を対象とした研修の実施

対象者へ調査票送付

11月～2月 個別避難計画作成